



平成 17 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ド ワ ン ゴ  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 宏  
 (コード番号：3715)  
 問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 室 長 松 本 康 一 郎  
 (TEL . 0 3 - 3 6 6 4 - 5 4 7 7 )

平成 17 年 9 月 期 連 結 業 績 予 想 お よ び 個 別 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成 17 年 5 月 16 日開催の取締役会において、連結調整勘定の償却方法に関する会計方針を変更し、子会社化に伴って発生した連結調整勘定を一括して費用処理することと、あわせて最近の業績動向を踏まえ、平成 16 年 11 月 16 日付当社「決算短信」において公表いたしました平成 17 年 9 月 期 (平成 16 年 10 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)の連結業績予想ならびに個別業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 17 年 9 月 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 ( 平 成 16 年 10 月 1 日 ～ 平 成 17 年 9 月 30 日 )

( 単 位 : 百 万 円 )

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成16年11月16日(A))	20,000	3,400	1,960
今 回 修 正 予 想 ( B )	18,700	3,050	570
増 減 額 ( B - A )	1,300	350	1,390
増 減 率 ( % )	6.5	10.3	70.9
(ご参考)前期(平成16年9月期)実績	16,831	2,992	2,390

2 . 平成 17 年 9 月 期 個 別 業 績 予 想 の 修 正 ( 平 成 16 年 10 月 1 日 ～ 平 成 17 年 9 月 30 日 )

( 単 位 : 百 万 円 )

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成16年11月16日(A))	20,000	2,000	1,200
今 回 修 正 予 想 ( B )	18,500	1,800	1,150
増 減 額 ( B - A )	1,500	200	50
増 減 率 ( % )	7.5	10.0	4.2
(ご参考)前期(平成16年9月期)実績	13,194	1,253	1,503

### 3. 修正の理由

売上高の修正につきましては、主に主力の携帯電話コンテンツ利用者数の停滞が影響し、当初計画を下回る見込みとなったことによるものであります。

利用者数伸び悩みの要因は、音楽系ジャンルにおいて「着うた」や「着うたフル」といったリッチコンテンツが市場拡大を遂げる一方で、これらのコンテンツ等配信にあたり著作権者等からの権利確保の進捗状況が鈍く、ユーザに満足いただけるための商品ラインナップとして十分とは言えない状況であったことから、新規入会者のペースが鈍化したことが挙げられます。

既存会員の満足度を示す退会率は引き続き低水準を維持しておりますが、下半期には、既存ビジネスの延長線上としてこれらのコンテンツの拡充を推し進め、新規ユーザの確保、維持に努めてまいります。一方で、携帯電話を通じた音楽系コンテンツを中心とする情報提供から、ユーザの日常生活により密着した利便性を重視した総合情報サービス配信を目指し、「パッケージ」をはじめとした他社との差別化を打ち出したサービスや新規コンテンツの投入を目指してまいります。

経常利益におきましては、主にコンテンツ事業の売上の減額を受け、経費面において費用対効果をさらに見極めた広告展開をはじめとした経費の削減を行いますが、「パッケージ」に代表されるコンテンツ事業から派生する新たなビジネスチャンスに向けた投資などを継続するため、当初の予想を下回る見込みとなりました。

また、上記に加え、連結業績予想におきましては、平成 17 年 5 月 16 日付「子会社との合併に関するお知らせ」ならびに平成 17 年 3 月 31 日付「株式会社チュンソフトとの資本提携に関するお知らせ」にてお伝えした子会社の異動に関して、連結調整勘定の償却方法に関する会計方針を変更し、連結調整勘定の一括費用処理を行います。これにより、株式会社コンポジットの 100%子会社化にあたって株式取得した際の償却残高 273 百万円、株式会社チュンソフトの子会社化に伴い 900 百万円（見込み）の約 1,170 百万円（見込み）を特別損失に計上いたします。

その結果、通期の連結業績見通しについては、売上高 187 億円（前期比 11.1%増）、経常利益 30 億 50 百万円（前期比 1.9%増）、当期純利益 5 億 70 百万円（前期比 76.2%減）、通期の個別業績見通しについては、売上高 185 億円（前期比 40.2%増）、経常利益 18 億円（前期比 43.6%増）、当期純利益 11 億 50 百万円（前期比 23.5%減）を見込んでおります。

なお、配当につきましては、従来どおり年間 2,000 円を予定しております。

以上